

資料「生徒主体の学びのデザイン」チェック表

実施ステップ		まとめ	チェックの観点
目標 ↓ 全体計画	目標設定 (資質能力ベースに)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■育てたい生徒の姿を具体的に描く</li> <li>■育みたい能力を明確にする</li> <li>■目標を具体的に、生徒がイメージできるようにする                             <ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒がなりたいたい姿のイメージを持てるようにする</li> <li>●評価の観点(成果のイメージ)を生徒と共有する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育成したい生徒の姿は明確か</li> <li>●伸ばしたい能力は明確か</li> <li>●目標は生徒と共有しているか</li> </ul>
	授業設計 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基礎的なスキル習得につながる活動を初期に組み込むなど、目的に応じて全体を設計する</li> <li>■生徒の学びへの意識を変革する(受け身のマインドセットを変える)(初期の段階)</li> <li>■学び方を学ばせる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習そのものの進め方</li> <li>●探究の進め方</li> </ul> </li> <li>■社会につながる学習の場を活用する(外部リソースの取り入れ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に応じた全体設計になっているか</li> <li>●学習観の意識変革など、学びのマインドセットができていないか/必要か</li> <li>●学び方を学ばせているか</li> <li>●社会につながる学習の場はあるか/必要か</li> </ul>
仕込み (事前準備)	学習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対話によって学習が深められる環境を用意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標達成には、どのような学習環境が必要か</li> <li>●生徒が学びやすい環境になっているか</li> </ul>
	教材 (素材)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思考を促す教材を用意する</li> </ul> <p>&lt;素材の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オリジナル素材の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的な視点が持てる素材</li> <li>・自分の日常と結びつく素材</li> </ul> </li> <li>●教科書の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の教科書を分析し、どの能力が育成できるのかを明確にして使用する</li> <li>・情報を批判的に捉える対象としても、教科書を利用する</li> </ul> </li> <li>●入試問題の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試問題を分析し、能力の育成や深い理解が促されるかを明確にして、活用する</li> </ul> </li> <li>●論文などの場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動のために、学術論文なども含めた必要な情報を生徒自身が集め、活用することを支援する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思考を促す教材となっているか</li> <li>●使っている教材はどのような思考を促しているか</li> </ul>
	教材 (課題・問い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思考を促す課題・問いを設定する</li> </ul> <p>&lt;問いの例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●理解を深める問い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「～について論ぜよ」など、理解をしていないとすぐに答えにたどり着かない、いくつかの視点が含まれる問い</li> </ul> </li> <li>●思考するための問い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○と△はどのような点で似ているか」</li> <li>・「△と□を比較してどちらを選ぶか論ぜよ」など</li> </ul> </li> <li>●複数の情報を分析して多面的に考える課題や問い</li> <li>●オープンエンドで多面的に考え、自分の考えを深められる問い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※上記の観点を取り入れて、ワークシートの形式などで教材化する</li> </ul> </li> <li>●探究テーマの自己設定の支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心を持てるもの</li> <li>・社会に役立つと考えられるもの</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思考を促す問いとなっているか</li> <li>●問い・課題は、どのような思考を促しているか</li> </ul>
授業	授業設計 (授業単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個⇒グループ⇒個の流れで、思考を深める                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いに対し、まず個人で考える</li> <li>・その考えをペアまたはグループで共有し議論する中で、多様な意見、多面的な視野で考える</li> <li>・上記を踏まえ最終的に個人の考えをまとめる流れで、授業を設計する</li> </ul> </li> <li>■対話を通じた学習を核にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どのような学びを実現したいか</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生徒の自由な思考を促す                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を制限しない</li> <li>・思考の自由を与える</li> <li>・考え方を示す</li> <li>・ヒントを出す</li> <li>・不足点を伝える</li> <li>・問い返す</li> </ul> </li> <li>■生徒間で多様な考えを認め合うように促す</li> <li>■生徒の状況に合わせ、柔軟に追加説明や新しい教材の提示などの支援を行う (生徒主体が難しい場合の修正)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の思考を促しているか</li> <li>●生徒同士がお互いを認め合うように促しているか</li> <li>●状況に応じて支援・指導しているか</li> </ul>
	成果/アウトプット	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各自の思考、成果をアウトプットさせる</li> </ul> <p>&lt;アウトプットの例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テーマに対する自分の考えと根拠の記述・発表</li> <li>●小論文作成</li> <li>●探究・研究レポート作成</li> <li>●校内の発表大会など、保護者や他学年の生徒など聴衆がいる場での発表</li> <li>●学会や研究会など校外の発表の場での発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どのような思考・成果をアウトプットさせるか</li> </ul>
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>■最初の目標に照らし合わせて成果の振り返りをさせる</li> </ul> <p>&lt;振り返り活動の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●成果・プロセスの振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力がついたかどうか</li> <li>・発表などで、よかった点や課題</li> <li>・問題のどこを、どうして間違えたのか</li> <li>・疑問に思うこととそれに対する予想</li> <li>・上記の振り返りから理解を深め改善点を見いだす(自分で・対話を通して)</li> </ul> </li> <li>●学び方の振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの学び方を知ること自分の学び方をよりよくする</li> </ul> </li> <li>●他者評価を踏まえた振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表などに対する他者からの意見・感想・評価を踏まえて自分の改善点を見いだす</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標に照らして成果を振り返り、次の活動につなげさせているか</li> </ul>
評価	評価 (多面的評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様な生徒の評価</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総括的評価・形成的評価                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観テスト</li> <li>・受賞・入賞</li> <li>・ルーブリック評価</li> <li>・他者からの評価</li> <li>・自己評価 など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の多面的な評価を行っているか</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■教師自身の振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>●最初の目標に照らし合わせて到達状況を振り返る</li> <li>●生徒からの評価を受けて、改善点を検討する(アンケートなど)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師自身も振り返りを行い、指導や計画を見直しているか</li> </ul>